

ブーストゲート法の紹介

～ 有望な研究開発テーマを事業につなげるマネジメント ～

和田 義明 Ph. D.

国際P2M学会 理事

東京農工大学 理事

本セミナーのねらい

提案されたテーマの中に可能性や将来性を見出し、事業化につなげるためのマネジメントにおいて大切な考え方に気が付いていただくこと

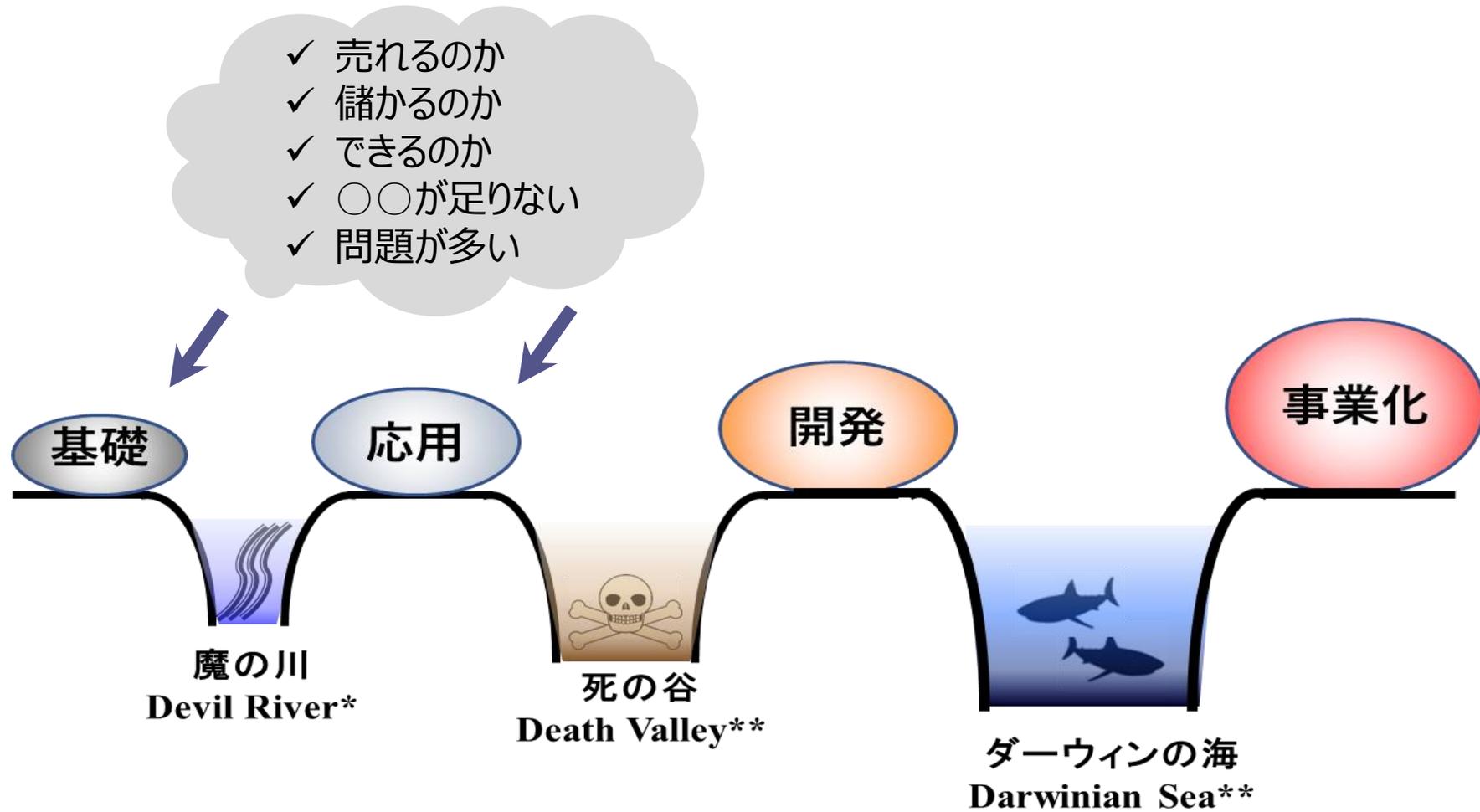
想定するターゲット

- 企業における研究開発、商品企画、事業経営に携わるマネジメント層、経営者
- 将来上記のような立場を目指している方
- 産官学どの分野においても、有望な提案を見出し実現につなげようとしている方

ブーストゲート法とは何か

提案の可能性を見出し、不足点については適宜助言を与えながら、事業化へ後押しするマネジメント

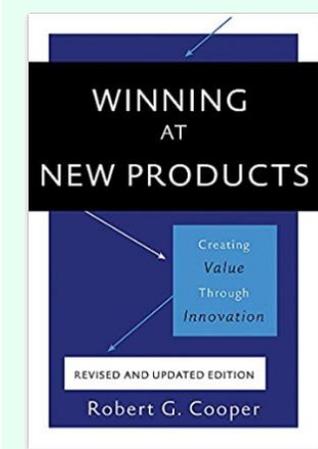
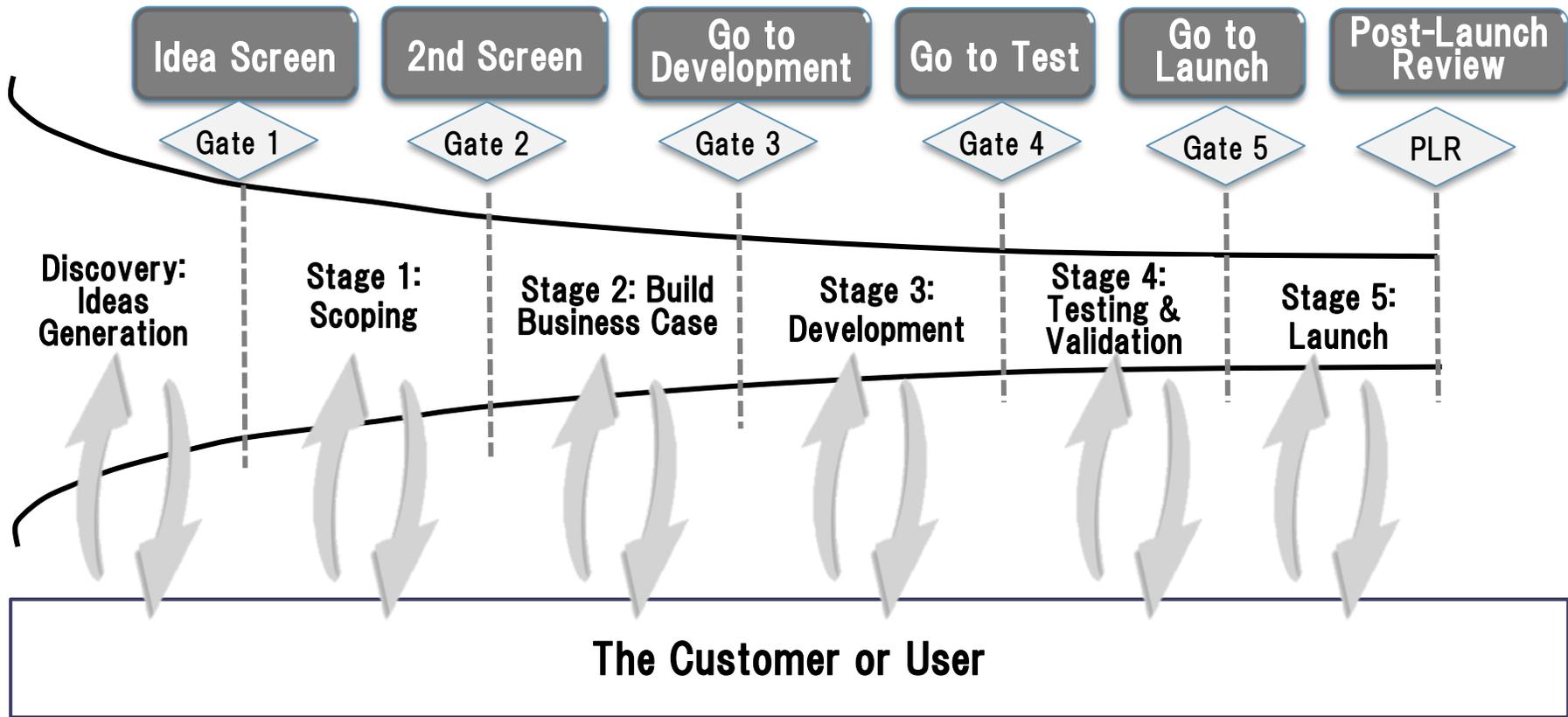
ブーストゲート法を考案した背景



* 吉野完, "R&Dバブル崩壊後のハイテク開発戦略", 知的財産創造, Vol 5, 2003

** 出川通, "MOTと産学連携; 産学連携でのWIN-WINを得るには", 産学官連携ジャーナル, Vol.2, No.8, 2006
 上記文献を基に筆者作成

ステージゲート法



Robert G. Cooper, "WINNING AT NEW PRODUCTS -CREATING VALUE THROUGH INNOVATION" REVISED AND UPDATED EDITION, Basic Books (2017)

Cooper G., Robert, WINNING AT NEW PRODUCTS, REVISED AND UPDATED EDITION, 2017 を基に筆者作成

ゲートキーパー



- 前のステージの活動科結果
- 標準項目
(例：ビジネスプランの構成要素)に基づく
- ゲートで正しい意思決定を効率的に行うためのカギとなる情報の提供

評価・決定
基準

決定の根拠として

- 準備確認
- 要求されている成果物の用意はあるか
- データに信頼性はあるか
- 事業面の正当性論拠
- 自社戦略に適合しているか
- 魅力的な投資機会か
- アクションプラン
- 今後の計画は適正か
- 利用できる経営資源はあるか
- 経営視点を承認・コミットするか



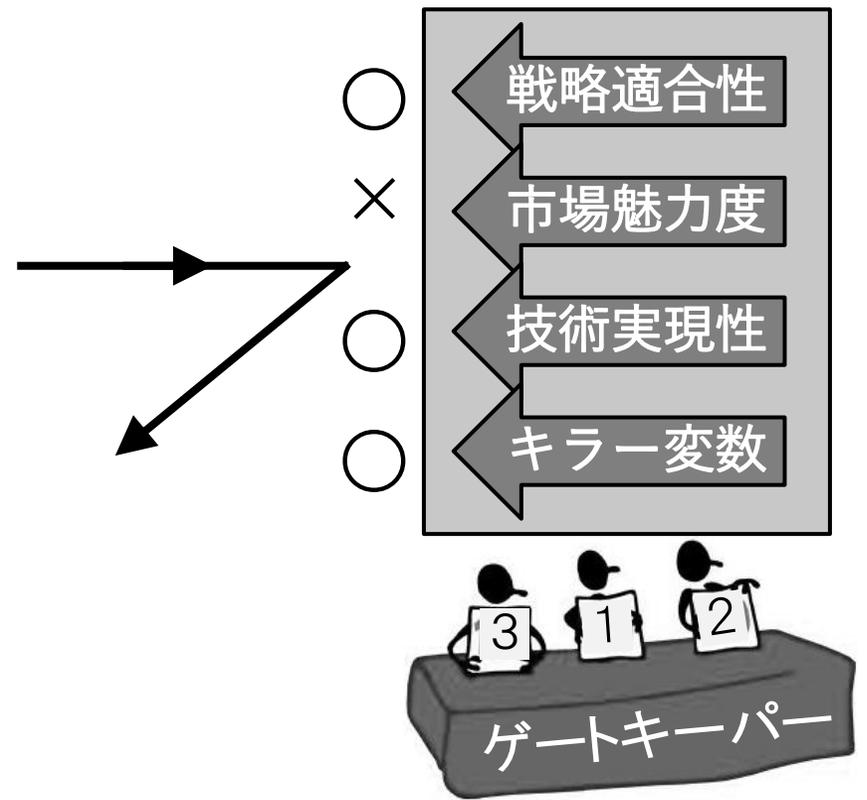
ロバート・G・クーパー著、浪江一公訳、「ステージゲート法—製造業のためのイノベーション・マネジメント」、英治出版(2012)

ステージゲート法のメリット、デメリット

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none">①テーマの絞り込みが容易になる②やるべきことの筋道が明確になる③事業部門と研究部門の連携が促進される④事業化目前でのトラブルを防げる⑤プロジェクト中止が容易となる⑥見落としや抜けを減らせる⑦新しいアイデアを取り上げやすくなる⑧知財を系統立てて探究できる	<ul style="list-style-type: none">(1)研究開発のスピードが損なわれる(2)有望なテーマをkillしてしまう(3)研究員の士気低下を招く(4)研究意識や視野の狭窄を招く(5)失敗に学ぶ機会が減少する(6)新規テーマの推進力が弱体化する

伊丹敬之, 金子浩明, 技術経営の常識のウソ, 日本経済新聞出版社, p88-89, 2010年
宮正義, ステージゲート・プロセス成功の勘所, NIKKEI BizTech, No.003, p24-30, 2004
上記文献を基に作成

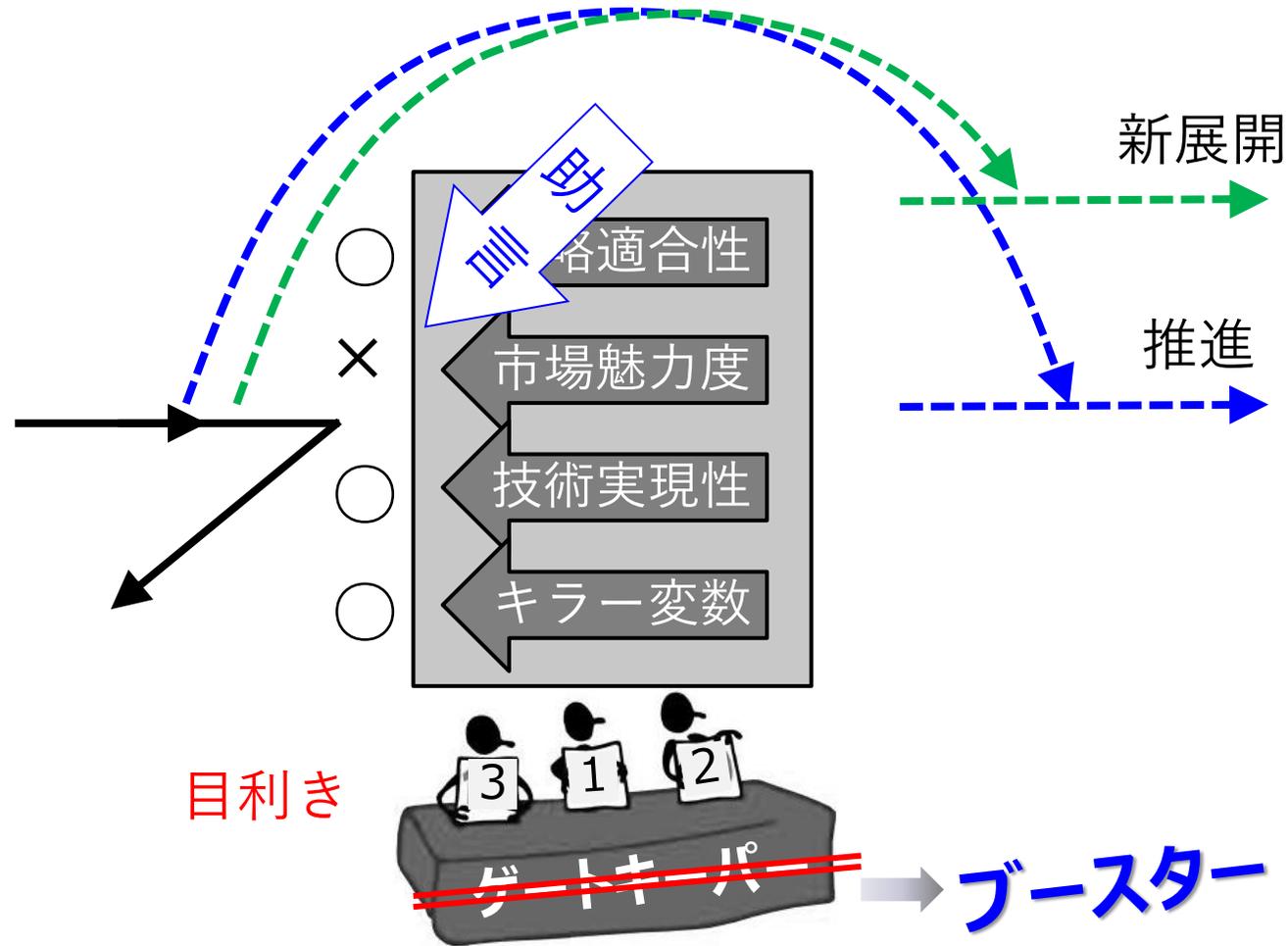
ゲートの機能（管理的）



Wada, Y., "Implementing the Boost Gate Methodology in Corporate Research and Development",
The 3rd International Conference of IAP2M, 2015

Copyright: IAP2M & Speaker

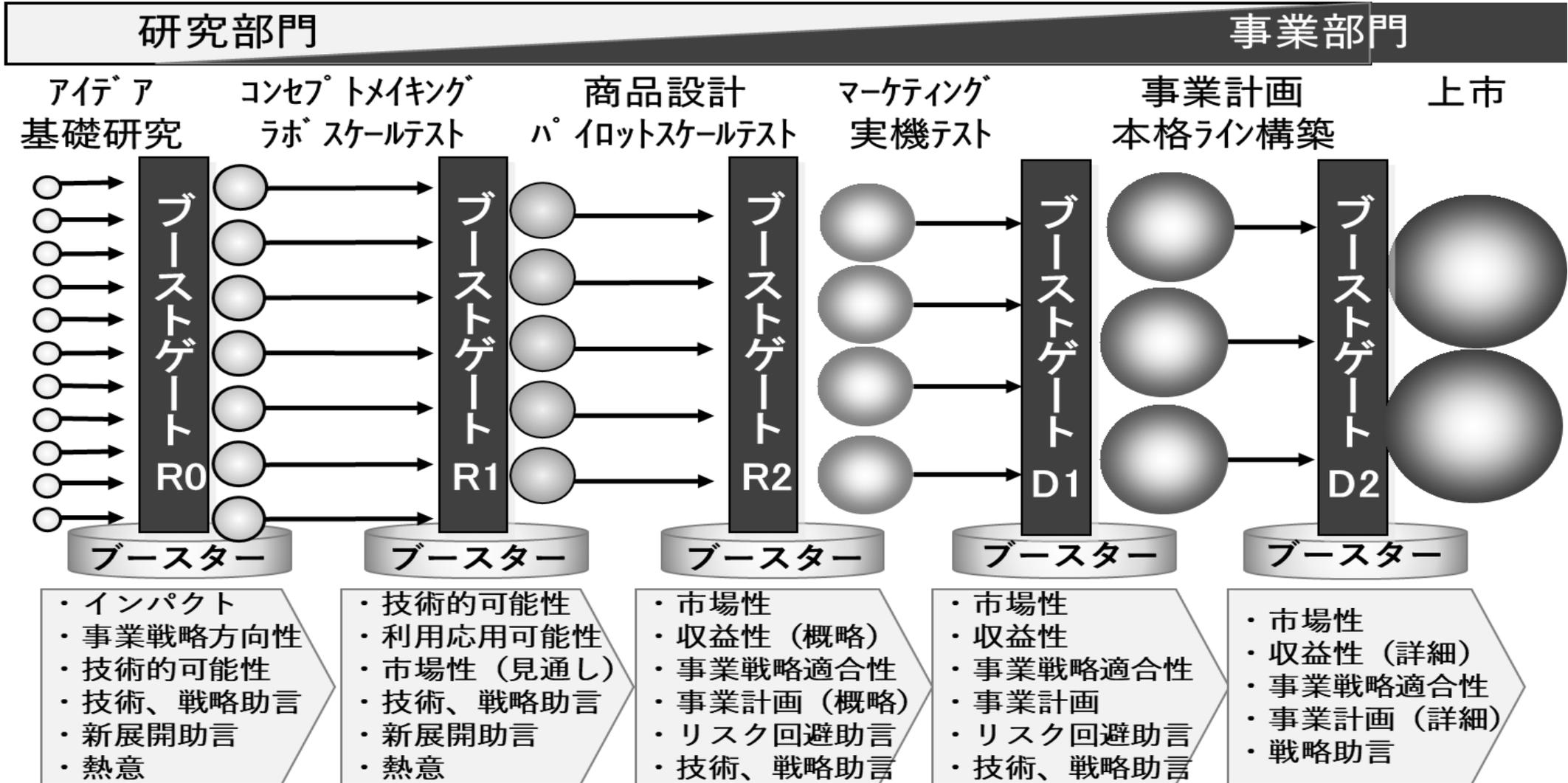
有望なテーマを後押しするブーストゲート



Wada, Y., "Implementing the Boost Gate Methodology in Corporate Research and Development",
The 3rd International Conference of IAP2M, 2015

Copyright: IAP2M & Speaker

ブーストゲート法全体図



一般的な司会進行

只今の発表に対して、
ご意見、ご**指摘**をお願いします。



司会

ここが足りない。
この点は難しいのではないか。
事業として成り立つのか。



ゲートキーパー

ファシリテーターの役割

只今の発表に対して、将来性があるかどうか、目利きをお願いします。

もし有望であると思う場合は、ご意見、ご助言をお願いします。



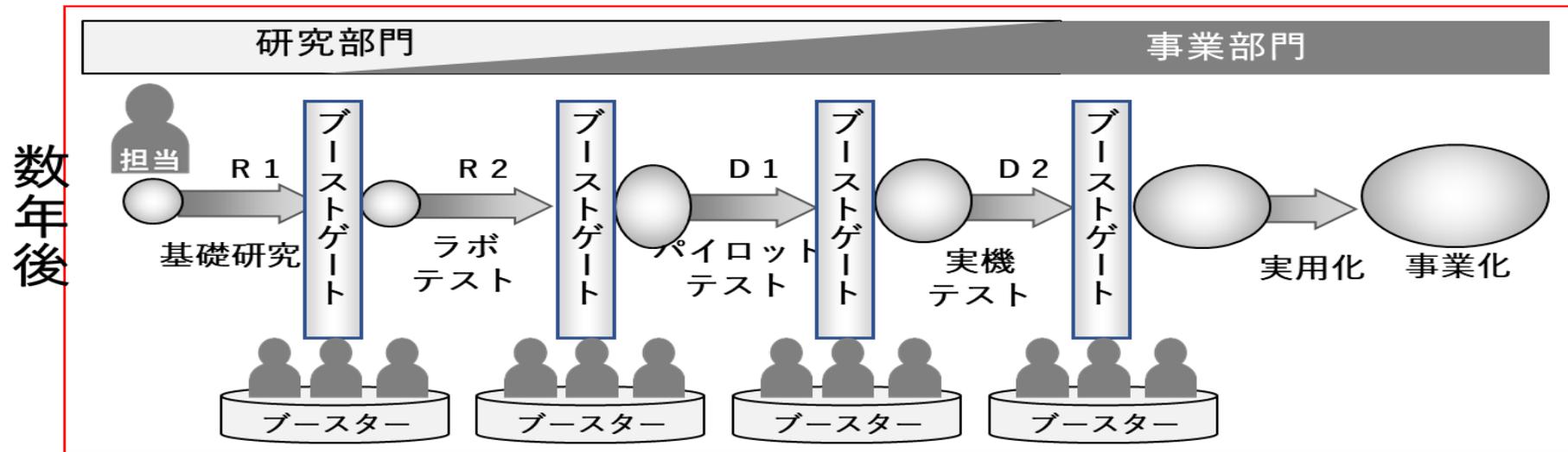
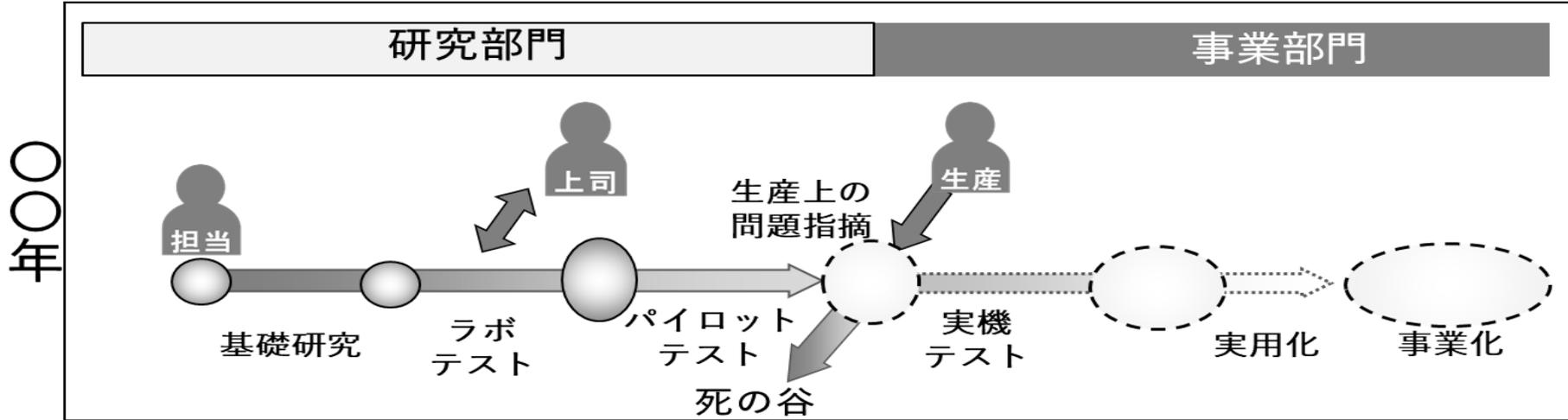
ファシリテーター

基本的に進めたテーマである。この点は、こうすれば解決する。このような展開方法もある。



ブースター

ブーストゲート活用事例（食品企業K社）



Wada, Yoshiaki, "Implementing the Boost Gate Methodology in Corporate Research and Development",
The 3rd International Conference of IAP2M, 2015を基に筆者改変

Copyright: IAP2M & Speaker

ブースターの役割と必要な能力

ブースターの役割	ブースターに必要な能力
技術的な可能性を見抜く	技術の本質が分り、その応用可能性を見抜く能力
事業としての可能性を見抜く	事業のビジョンを描く能力を基に、可能性を見抜く能力 事業に繋がる可能性を見抜く能力
問題の解決策を助言する	技術上の問題を解決するための助言能力 事業戦略上の問題を解決するための助言能力
新たな展開策を助言する	技術を応用するための幅広い知識に基づく助言能力 事業戦略における幅広い視野に基づく助言能力
リスク回避の方策を助言する	リスクを見抜く能力 リスクを回避する助言能力

ファシリテーターの役割

- ① 些末な指摘に引きずられることなく、大局的にみて有望かどうかの判断を促す
- ② 助言を引き出す
- ③ 指摘の嵐で提案が潰されないように導く
- ④ 指摘は次に進むための糧になるように導く
- ⑤ 前向きな人の発言を促し、ネガティブな雰囲気を修正する

本セミナーのねらい

提案されたテーマの中に可能性や将来性を見出し、事業化につなげるためのマネジメントにおいて大切な考え方に気が付いていただくこと

想定するターゲット

- 企業における研究開発、商品企画、事業経営に携わるマネジメント層、経営者
- 将来上記のような立場を目指している方
- 産官学どの分野においても、有望な提案を見出し実現につなげようとしている方

参考文献

- 1) 和田, “企業における研究開発プロセス手法の考案”, 国際P2M学会誌, Vol.7 No.2, pp.75 – 85, 2013 [ja \(jst.go.jp\)](#)
- 2) 和田, “企業 R & D におけるブースト・ゲートの実践法”, 国際P2M学会誌, Vol.11 No.1, pp.38-45, 2016 [ja \(jst.go.jp\)](#)
- 3) Wada, Yoshiaki, “[Boost Gate’s Practical Applications to Corporate Research and Development \(jst.go.jp\)](#),” *Journal of Chemical Engineering of Japan*, 51, 9, 2018